

IZUMI JUNIOR COLLEGE

宗教部便り

EX HOC CHRISTI FONTE PURITAS
ET CARITAS JUVENTUTIS SURGANT

第46号

2014年3月10日

発行兼 宗教委員会
編集 和泉短期大学
発行所

神奈川県相模原市中央区青葉 2-2-1
TEL 042 (754) 1133 (代表)
FAX 042 (753) 2087
URL <http://www.izumi-c.ac.jp>

守られているのだから

理事長

深町 正信



私たちは大地があつてこそ初めて立つことができます。大地を抜きにして、人生を考えられないように、主イエスの十字架の出来事、赦しと恵みによる信頼の基盤なしに、人間不信からの解放と、私たちの絶対的信頼関係はなり立たないと、私は思います。

自然科学の発達により、私たちは多くの恩恵に浴すことが出来て

います。しかし、天の父なる神への信頼と感謝を忘れては、本当の満足、人間の基本的信頼は揺るぎ、社会は疲弊の道を進むことになり、マタイによる福音書6章33

大人（おとな）になる

(1コリント十四章二十節)

チャプレン・学長

伊藤 忠彦



「ものの判断については大人になつてください」(コリントの信徒への手紙一14章20節)と、聖書

に書かれています。もちろん、判断だけでなく、その生き方も、大人に相応しくあつてほしいと言う

2013年度 チャペルアワー一覧

月日		タイトル	説教・奨励者 (敬称略)
4/8	イースター礼拝	天国を目指して	伊藤忠彦
4/15	チャペルアワー	造り手の思い	横川剛毅
4/22	創立記念礼拝	泉となる人	潮田健治
4/29	チャペルアワー	日々新たなり	辻川 篤
5/13	チャペルアワー	喜んでいなさい	櫻井奈津子
5/20	ペンテコステ礼拝	教会の誕生日	高田和彦
5/27	チャペルアワー	人生はため息のように	中西理恵
6/3	チャペルアワー	自分の重荷を担う	伊藤忠彦
6/10	チャペルアワー	子どもへのまなざし	片山知子
6/17	チャペルアワー	「共感する他者」となるために	鈴木敏彦
6/24	チャペルアワー	時になんて美しい	山本美貴子
7/1	チャペルアワー	心が開かれる	伊藤忠彦
7/8	チャペルアワー	わたしたちがまだ弱かったころ	木村治男
7/15	チャペルアワー	見えないものに目を注ぐ	武石宣子
7/22	前期修了感謝礼拝	主の山に、備えあり	伊藤忠彦
9/30	チャペルアワー	狭い門から入る	櫻井奈津子
10/7	チャペルアワー	求めなさい、そうすれば与えられる	重田紀子
10/14	チャペルアワー	善いサマリア人	佐藤守男
10/21	チャペルアワー	小さな種を蒔こう	須藤みぎわ
11/4	チャペルアワー	約束は希望を生む	松浦浩樹
11/11	百天者記念礼拝	主の慈愛の眼差しのもと	深町正信
11/18	チャペルアワー	自分の光に、委ねて生きる	井狩芳子
11/25	チャペルアワー	子どもと過ごした悲しみと喜びの中で	長山篤子
12/2	クリスマスツリー点火祭 アドベント礼拝①	クリスマスって何の日?	櫻井奈津子
12/9	アドベント礼拝②	正義にまきる愛の力	伊藤忠彦
12/16	クリスマス礼拝	暗闇に輝く光	須田 拓
1/6	チャペルアワー	一人の小さな手	櫻井奈津子
1/20	チャペルアワー	あなたは呼びかけられている	福永保昭
1/27	後期修了感謝礼拝	善をもって悪に勝ちなさい	伊藤忠彦
3/13	卒業・修了感謝礼拝	大人（おとな）になる	伊藤忠彦

ことです。私たちは幼い日々を知識と経験を積み、心身共に成長して「小人」(こども)から「大人」になるのです。

それでは、大人になるとはどう言うことでしょうか。

成人した者として、与えられた任務、使命を果たす(なしとげる)責任が、それまでになく増し、拡大するということです。

絵本「初めてのお使い」作・筒井頼子・林明子には、たった五歳の女の子が、生まれて初めてのお使いに、一人で出かける様子を描かれています。お母さんと二つの約束「自転車に気をつける」「おつりをわすれない」を胸に。五歳のみいちゃんは、坂でこ

び、手から落ちた百円玉を探すことになり、更に、誰もいないお店の前で、途方にくれるのです。

しかし、五歳の、みいちゃんはお母さんから託された任務を、めげずに、立派に果たすのです。

みいちゃんは大人になれば、もっと沢山の、また大きな務めを担い、辛くても、それらを、成し遂げなければならなくなるのです。めげる、へこたれる、くじけるわけにはゆかないのです。

だから聖書は「神は我々と共におられる」(マタイによる福音書1章23節)「キリスト・イエスにおける恵みによって強くなりなさい」(テモテへの手紙二2章1節)と教えているのです。

チャペルアワー報告

● 宗教部長 櫻井 奈津子

今年度は、年間聖句「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙第12章15節)のもとに、説教・奨励・司会・奏楽でのご奉仕を下さった皆さま、ハンドベル・聖歌隊・ICF・チャペル委員の学生、と、この1年間多くの方々のお支えによって、前・後期合わせて30回のチャペルアワーをお捧げすることができました。和泉で学んだ皆さんにとって、チャペルアワーで体験したひとときが日々の歩みの中でよりどころとなることを祈っています。

2013年度
チャペルアワー献金等の報告

〈収入〉

チャペルアワー献金	141,424円
クリスマス献金	80,374円
いずみ祭時募金	2,202円

〈支出〉

CFJスポンサーシッププログラム	96,000円
(福)バット博士記念ホーム	5,000円
キリスト教保育連盟	20,000円
CFJ(フィリピン台風被災復興支援)	103,000円

感謝して報告申し上げます。



2013年度を振り返って

学生聖歌隊

● 二年 小国 由麻

私たち聖歌隊は学年関係なく仲間活動しています。礼拝やはっぴいクリスマスコンサート等に積極的に参画させて頂いています。はっぴいクリスマスコンサートに向けて夏休みには集中練習、そしてパート練習、全体練習を行いました。当日はサンタさんやトナカイになって、子どもたちと楽しくクリスマスの歌を歌うことが出来ました。上手く歌おうとするのではなく、楽しく歌うことによって、素敵な讃美歌をみんなの心に届けることが出来ます。少しでも興味があつたら、ぜひ聖歌隊に入ってみて下さい。きっと素敵な経験になります。



ハンドベルが教えてくれたこと

● 二年 半田 理恵

ハンドベルの一回目の授業の際「あなたが私のそばにいてくれるから、いろいろなことができる」と千葉先生が御指導して下さいました。



ら劇の準備をしました。劇は「たいせつなきみ」という絵本をもとに大人にも子どもにも伝わりやすいように歌をとり入れたり、言葉を変えたり工夫しました。「苦手なことやできないことがあってもその人の存在そのものを親や神様は愛してくれている。だからそのままのきみでいていいんだよ。」ということ伝えていきました。一つのことを大切にしている人にも少しも何かが伝わったのではないかと思います、また、自分たちも大切なことを改めて心にとめることができました。

今年度のハンドベルメンバーも互いに教え・励ましながらの時間外練習や、パーティで学年関係なく楽しむ中で、多くの思い出が出来たことは勿論、仲間と協働したからこそ一生懸命頑張れたのだと思います。

私にとってハンドベルは、多くの学びをさせて頂けた音楽でした。

ICF

● 二年 木下 恵理沙

2013年度のICFの活動は、主にクリスマスに向けて夏か



チャペル委員

● 二年 羽太 友紀子

チャペル委員はクリスマスの時期、本格的に活動が始まります。ツリーの飾りつけからお楽しみ企画まで各自担し、点火祭に向けて取り組みます。

● 2013年度学生活動表

	学年	人数	合計	活動時間・場所
ハンドベル (選択科目)	1年	7	15	毎週金曜日の 4時限 200教室
	2年	8		
学生聖歌隊	1年	10	18	毎週水曜日の 昼休み 宗教センター
	2年	8		
ICF	1年	6	13	毎週月曜日の 昼休み 宗教センター
	2年	7		
チャペル委員	1年	23	48	毎週月曜日の 10時40分 クラークホール
	2年	23		
	専攻科	2		



点火祭で私は、司会をやらせていただきました。打ち合わせや読み合わせを大切に、本番に臨みました。聞き取りやすいよう、落ち着いて読みました。点火祭が終わった後、点火されたツリーの前で記念撮影する学生や親子連れの姿があり、良い思い出になったと思います。